

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 中原、保木本、大石

2. 山城／ルート 剣岳剣尾根

3. 交通手段 車

## 4. 行動記録

<入山日 2014 年 4 月 25 日。 下山日 2014 年 4 月 28 日>

### 第 1 日

4 月 25 日 神戸 21:00-4 月 26 日馬場島 2:30 仮眠

### 第 2 日

4 月 26 日 晴 馬場島 7:20-10:19 池ノ谷出合-15:00 剣尾根末端(泊)

### 第 3 日

4 月 27 日 晴 テント場 6:30-7:00R10 取付き-7:30 コルE-8:30 コルD-13:40 コルC 14:40-16:30 2520m地点(泊)

### 第 4 日

4 月 28 日 曇 幕営地 5:10-10:40 剣尾根末端-12:00 池ノ谷出合-14:00 馬場島

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

コルCまでの登攀に時間がかかり、人工登攀ピッチで、大石トップで登りですが 3 人が突破するのに時間がかかることと翌日からの悪天の予想からコルCで前進を断念して下降した。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

入山日にテント場到着直前に中原が体調を崩した。テントで休息しているうちに回復し翌日の行動は予定どおりだった。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

反省会実施。

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- 計画は剣尾根主稜を登り早月尾根下降であったが、フル装備一式背負った残雪期の剣尾根登攀はコルDからロープを使うこととなり、我々3人には時間がかかり過ぎ、結果当初の計画は達成できなかった。出来るだけロープを使用しないでスピーディに下降できる登攀能力がもっと必要なルートである。

報告者氏名 中原

2014 年 4 月 30 日



↑池ノ谷を登る



↑コルDからリードする大石



↑ビレー中の保木本、バックはドーム